

基準 2 学生

**基準 2. 学生**

**2-1 学生の受入れ**

**2-1-① 教育目的を踏まえたアドミッション・ポリシーの策定と周知**

**2-1-② アドミッション・ポリシーに沿った入学者受入れの実施とその検証**

**2-1-③ 入学定員に沿った適切な学生受入れ数の維持**

(1) 2-1 の自己判定

基準項目 2-1 を満たしている。

(2) 2-1 の自己判定の理由（事実の説明及び自己評価）

**2-1-① 教育目的を踏まえたアドミッション・ポリシーの策定と周知**

八戸学院大学短期大学部（以下、本学）におけるアドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）は、学校教育法施行規則の一部を改正する省令の公布に応じ、本学の教育目的に基づくディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）とカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を踏まえて全学的な見直しを行い、平成 31(2019)年 4 月 1 日に改訂した。各学科のアドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針と判定方法）、教育目的・教育目標は、表 2-1-1、表 2-1-2 のとおりである。

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）は「八戸学院大学短期大学部 Web ページ」、「学修の手引き（学生便覧）」、「入学者選抜試験要項」、「大学案内」に記載するとともに、高校教員を対象とした入試説明会、進学説明会・相談会、教職員による高校訪問、オープンキャンパスなどさまざまな機会を活用し、大学内外への周知を図っている。

【資料 2-1-1】本学 Web ページ <http://www.hachinohe-u.ac.jp/nyushi/>

【資料 F-5】2020 年度学修の手引き

【資料 F-4】令和 2 年度八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部入学者選抜試験要項

【資料 F-2】八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部大学案内『未来をつくるチカラ』

表2-1-1 アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針・判定方法）

幼 児 保 育 学 科	<p>保育士資格および幼稚園教諭二種免許状を取得する強い意志を有し、保育者として社会において活躍しようとする意欲がある人を受け入れる。</p> <p>【幼児保育学科の具体的な受け入れ方針】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 情操教育であり保育の専門技術でもある音楽を積極的に学ぼうとする意欲がある。</li> <li>2. 保育の専門的知識と技術を身につけようとする強い意欲がある。</li> <li>3. 「読む、書く、聞く、話す」などの基本的なコミュニケーション能力を有する。</li> <li>4. 高等学校で学習した主要科目について、十分な基礎学力を身につけ、基礎的な課題を解くことができる。</li> </ol> <p>【入学者選抜における判定方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 音楽を積極的に学ぼうとする意欲については、書類審査と面接および小論文またはピアノ実技により判定する。</li> <li>2. 保育の専門的知識と技術を身につけようとする強い意志については、書類審査と面接および小論文により判定する。</li> <li>3. 基本的なコミュニケーション能力については、書類審査と面接及び小論文により判定する。</li> <li>4. 高等学校で学習した主要科目について、十分な基礎学力を身につけていることについては、書類審査と学力検査により判定する。</li> </ol>
----------------------------	---

介 護 福 祉 学 科	<p>介護福祉士国家資格を取得する強い意志を有し、介護福祉職として社会において活躍しようとする意欲がある人を受け入れる。</p> <p>【介護福祉学科の具体的な受け入れ方針】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 介護に対する強い興味と関心、短期大学教育に対する高い学習意欲を有している。</li> <li>2. 高等学校で履修した主要科目についての基本的な知識を有し、基礎的な課題を解くことができる。</li> <li>3. 自分の考えを口頭や文章により適切に表現することができ、他者に対して的確に伝えることができる。</li> </ol> <p>【入学者選抜における判定方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 介護に対する強い興味と関心、短期大学教育に対する高い学習意欲を有していることについては、面接により判定する。</li> <li>2. 高等学校で履修した主要科目についての基本的な知識を有し、基礎的な課題を解くことができることについては、書類審査と学力検査により判定する。</li> <li>3. 自分の考えを口頭や文章により適切に表現することができ、他者に対して的確に伝えることができることについては、面接および小論文により判定する。</li> </ol>
----------------------------	--

(注) 介護福祉学科は令和元(2019)年度学科開設した。

表2-1-2 各学科の教育目的・教育目標

学科名	教育目的	教育目標
幼児保育 学科	理念と実践の融合を図り、保育者として社会の発展に寄与できる人材を育成する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる保育者を養成する。</li> <li>(2) 自らの責務を理解し、他の保育者や専門職者と協働して、子どもの最善の利益を追求することができる保育者を養成する。</li> </ol>
介護福祉 学科	介護の諸活動を主体的かつ合理的に行う能力と態度を育てることにより、福祉社会に貢献できる人材を育成する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 介護の専門的知識と技術を有し、自立支援の観点から介護実践できる能力を身につけた介護福祉士を養成する。</li> <li>(2) 利用者や家族の援助のためのコミュニケーション能力と、他職種協働による介護過程を展開できる能力を身につけた介護福祉士を養成する。</li> </ol>

## 2-1-② アドミッション・ポリシーに沿った入学者受入れの実施とその検証

本学は短期大学設置基準第2条の2に基づき、「本学公式ホームページ」、「入試ガイド」および「入学者選抜試験要項」に記載したアドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）にのっとり、入学者の選抜を公正かつ適切に行っている。

入学試験においては、アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）を理解した一定の基礎学力を持つ多様な学生を受け入れるため、アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）の「入学者選抜における判定方法」を踏まえた種々の選抜方法を設けており、志願者が個々に応じた入学試験を選択できるよう工夫している。これらの多様な選抜については、それぞれの選考基準を設け、公正かつ適正に行っている。

入学試験運営委員会が面接を担当する教員に対して、事前の試験実施説明会で試験実施要項を配布し、「入学者選抜における判定方法」に留意して面接を行うよう依頼するとともに、試験終了後には報告会を開催し、面接担当者全員からの報告（面接評価表および面接シートの提出を含む）を義務付けている。このように、面接が厳正に行われ、アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）に沿った公正な試験運営となっているかを検証

している。

また、学力試験を課す入学試験においては、アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）の「入学者選抜における判定方法」に基づいた学力の確認を基本としている。入学試験問題については、入学試験運営委員会が本学の各学科の教員の中から作題者を選出し、その教員が問題を作成する。確認作業については、情報漏洩に十分注意するとともに、出題ミスがないように作題者および入学試験運営委員による相互チェックを行っている。

#### 【資料 2-1-2】八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部入学試験運営委員会規程

入学者の選抜については、「八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部入学者選抜委員会（以下、「入学者選抜委員会」）」による合否判定会議において合否が審議され、学長によって決定される。「入学者選抜委員会」は、本学および系列の八戸学院大学の入学試験の合否判定に関する事項を審議する委員会であり、入学者受け入れの方針にのっとり、厳正に審議・選抜を行っている。

入学試験の内容の詳細は、以下のとおりである。

##### (1) 幼児保育学科で実施している入学試験について

学力試験を課す一般入学試験（Ⅰ期・Ⅱ期）と大学入試センター試験成績利用入学試験以外で面接を課し、受験者の本学への志望の動機や意欲・適性について、アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）で求める学生像に留意し、評価を行っている。

幼児保育学科の具体的な受け入れ方針のうち「音楽を積極的に学ぼうとする意欲」については書類審査と面接および小論文またはピアノ実技、「保育の専門的知識と技術を身につけようとする強い意志」については書類審査と面接および小論文、「基本的なコミュニケーション能力」については書類審査と面接および小論文、「基礎学力」については書類審査と学力検査により判定する。さらに、幼児保育学科の専門課程入学試験は、高大連携の観点から、高等学校で保育の専門教育を受けた入学志願者を対象に実施しており、選抜方法にピアノ・ソルフェージュを取り入れている。

表 2-1-2 幼児保育学科で実施している入学試験

入学試験種別	試験内容
推薦入学試験（Ⅰ期）特待生選抜	・書類審査 ・面接 ・小論文
専門課程入学試験（保育専門課程）	・書類審査 ・面接 ・小論文またはピアノ・ソルフェージュ（選択）
一般入学試験（Ⅰ期・Ⅱ期）	・国語
大学入試センター試験成績利用入学試験（A・B・C日程）	・国語
社会人入学試験	・書類審査 ・面接 ・小論文

#### 【資料F-4】令和2年度八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部入学者選抜試験要項

幼児保育学科における入学試験の詳細は以下のとおりである。

##### ●推薦入学試験

基本的な資質と意欲を備えた学生を受け入れ、入学後に保育者として社会において活躍できるように育てるという教育的方針から、試験内容として書類審査・面接・小論文を課している。

●専門課程入学試験

専門課程入学試験は、高等学校において保育・福祉系の3科目以上の専門教育を受けた入学志願者を対象に実施している。試験内容として書類審査・面接を課し、小論文またはピアノ・ソルフェージュのどちらかを選択することとしている。

●一般入学試験（Ⅰ期・Ⅱ期）

学科のアドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）に沿い、国語の試験により判定する。

●社会人入学試験

入学者選抜の方法として「高等学校を卒業した者」、「1年以上の社会経験を有する者」について書類審査と面接および小論文を課している。

●大学入試センター試験成績利用入学試験

大学入試センター試験の国語の成績により審査する。

(2)介護福祉学科で実施している入学試験について

入学試験の実施にあたり、大学入試センター試験成績利用入学試験以外で面接を課しており、受験者の本学への志望の動機や意欲・適性について、面接を担当する教員が、アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）で求める学生像に留意し、評価を行っている。

介護福祉学科の具体的な受け入れ方針のうち「介護に対する強い興味と関心」、「高い学習意欲」、「自分の考えを口頭や文章により適切に表現することができ、他者に対して的確に伝えることができる」については小論文および面接で判定し、「高等学校で履修した主要科目についての基本的な知識を有し、基礎的な課題を解くことができる」については、書類審査および学力検査により判定する。

表 2-1-3 介護福祉学科で実施している入学試験

入学試験種別	試験内容
推薦入学試験（指定校推薦・公募推薦）	・書類審査 ・面接 ・小論文
A0 入学試験（A・B・C 日程）	・書類審査 ・面接 ・小論文
一般入学試験（前期・後期）	・国語 ・英語 ・面接
大学入試センター試験成績利用入学試験（A・B・C 日程）	・国語

【資料 F-4】令和2年度八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部入学者選抜試験要項

介護福祉学科における入学試験の詳細は以下のとおりである。

●推薦入学試験および AO 入学試験

アドミッション・ポリシーにのっとり、推薦入学試験では書類審査・面接・小論文を

実施する。

●一般入学試験

介護専門職として地域社会において活躍できる人材を育てるという方針の下、国語・英語の学力試験に加え、面接を行う。

●大学入試センター試験成績利用入学試験

大学入試センター試験の国語の成績により審査する。

2-1-③ 入学定員に沿った適切な学生受入れ数の維持

平成 28(2016)年度から令和 2(2020)年度の学科の入学定員・入学者数・収容定員・在籍者数の推移は、以下のとおりである。

表2-1-4 各学科の入学定員・入学者数・収容定員・在籍者数（各年度5月1日現在）

学科名	項目	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	備考	
幼児 保育 学科	定員	100	100	100	100	100		
	入学	107	97	96	89	85		
	比率	107%	97%	96%	89%	85%		
	収容	200	200	200	200	200		
	在籍	203	202	193	187	172		
	比率	102%	101%	97%	92%	86%		
ライフ デザイ ン学科	定員	40	40	/	/	/	平成30年度募集停止	
	入学	16	21					
	比率	40%	53%					
	収容	80	80					40
	在籍	41	38					20
	比率	51%	48%					50%
介護 福祉 学科	定員	/	/	/	40	40	令和元年度開設	
	入学				10	21		
	比率				25%	53%		
	収容				40	80		
	在籍				10	31		
	比率				25%	39%		

(注1) ライフデザイン学科は平成30(2018)年度募集停止し、平成30(2018)年度卒業生をもって廃止した。

(注2) 介護福祉学科は令和元(2019)年度開設した。

(3) 2-1 の改善・向上方策（将来計画）

今後、入学定員を確保するため募集戦略を見直し、高大連携の推進を図るとともに、系列校との連携をいっそう強化する。また、社会人の入学を拡大するため、幼児保育学科、介護福祉学科とも県の職業能力開発行政の推進による委託生の受け入れを行う。

## 2-2 学修支援

### 2-2-① 教員と職員等の協働をはじめとする学修支援体制の整備

### 2-2-② TA( Teaching Assistant)等の活用をはじめとする学修支援の充実

#### (1) 2-2 の自己判定

基準項目 2-2 を満たしている。

#### (2) 2-2 の自己判定の理由（事実の説明及び自己評価）

### 2-2-① 教員と職員等の協働をはじめとする学修支援体制の整備

#### 1. 学修支援の組織と体制

学修支援を担うのは、主に教務委員会、教養教育・リメディアル委員会、学生委員会、国際交流支援委員会、学生相談・特別支援室である。これらの運営は事務部門の組織である教務学生課との協働によって行われている。

また、国際教育部門として国際教育支援室とその下位組織である国際教育支援センターが留学生の受け入れを担当するほか、国際交流支援委員会と協働して学生の留学支援にあたっている。

本学の学修支援体制は、ゼミナール等の担当教員による支援、オフィスアワー制度、リメディアル教育、IT ネットワークシステム、国際交流支援、特別学生支援、健康管理（学生相談・ハラスメント相談）、学生からの意見・要望の聴取を軸としている。

### 2-2-② TA( Teaching Assistant)等の活用をはじめとする学修支援の充実

#### 1. 学修支援の状況

#### (1) ゼミナール等の担当教員による支援

本学では履修登録や就職相談など、教員がすべての学生に対して個別に相談に応じている。幼児保育学科では、ゼミナールを中核とした学修支援を行っている。まず、ゼミナール担当教員が学生の履修登録状況を点検し、科目の選択について助言を行う。また、学期ごとに算出される GPA の情報を学科内で共有し、ゼミナール担任はそれを基に学生と面談を行い、学習方法の振り返りや今後の目標設定等のアドバイスを行う。その他、学生の相談窓口でもあり、中途退学、休学および留年など問題が見られた場合の指導担当者ともなっている。

介護福祉学科ではゼミナールが設置されていないため、「カレッジアドバイザー」制度を設定し、担当教員が学生の学修支援を行っている。

#### (2) オフィスアワー制度

教員が学生からの質問、相談に応じる時間を「オフィスアワー」として設けており、学生は授業で生じた疑問や、生活、進路のことなどの相談、教員との対話の時間として自由に研究室を訪問することができる。また、メールで担当教員に連絡できる IT システムがあるなど、オフィスアワーの時間以外にも学生は日頃より気軽に相談できる環境にある。

#### (3) ワークスタディー制度

本学では、TA ( Teaching Assistant) に相当するものとして、「八戸学院大学・八戸学

院大学短期大学部学内ワークスタディ規程」に基づき、学生アルバイトとして教育研究活動および修学環境整備に係わる補助が行われている。

令和元(2019)年度においては、教務学生課 2 人、短大事務室 1 人、美術の教員の下で 11 人、音楽の教員の下で 7 人の学生（短期大学部）がワークスタディを行った。また、大学の学生 2 人が、本学が地域貢献活動として行っている「ウォーキングクラス」において、アシスタントを務め、7 人の大学生が介護福祉学科留学生の講義補助を行った。

【資料 2-2-1】八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部学内ワークスタディ規程

【資料 2-2-2】学内ワークスタディ募集要項

【資料 2-2-3】学内ワークスタディ採用実績

【資料 2-2-4】学内ワークスタディ勤務状況報告書

#### (4)リメディアル教育

本学では、学科ごとの実態に応じて、基礎学力の違いに関係なく、全学生を対象にリメディアル教育を実施している。

幼児保育学科では、全合格者を対象とした国語の学習課題を入学前に課している。課題は入学後に提出させ、学習課題の作成者がその結果を授業に反映させている。また、音楽教育を重視していることから、系列高校からの入学者を対象にピアノレッスンの入学前特別講座も実施している。入学後は新入生全員を対象として基礎学力テストにあたる「一般常識調査」を実施し、早い時点で学生の学力を把握して学修支援に活用している。さらに、「実践国語表現」の時間を設けて国語のリメディアル教育を実施している。

介護福祉学科では、AO 入試合格者（留学生を除く）および推薦入試合格者を対象に、介護福祉に関連する事項を基にした学習課題を課している。

【資料2-2-5】入学前課題

【資料2-2-6】一般常識調査

【資料2-2-7】「実践国語表現」年間計画

【資料2-2-8】「キャリアプランニング」シラバス

【資料F-2】 大学案内「CAMPUS GUIDE BOOK 2020」

【資料2-2-9】平成31年度春学期オフィスアワー（一覧表）

#### (5) IT ネットワークシステム

学生のコンピュータ利用のために、全学生にIDとパスワードおよびメールアドレスを配布している。インターネット環境があればどこからでも教学Webシステムを活用でき、スマートフォンやタブレット端末での無線LAN接続での利用も可能である。学生は履修登録、シラバス閲覧、成績の確認や奨学金申請手続き、一部の科目ではレポート提出等をウェブ上で行っている。パソコンの利用環境としては、授業で使われていない時間にコンピュータ実習室を利用できるほか、図書館2階（20台）とキャリア支援室（3台）に備えられたパソコンを随時使用することができる。

一方、教員は教学Webシステムの「学生カルテ」によってウェブ上で学生の成績・履修状況を確認し、学修支援に活用している。

#### (6) 国際交流支援

本学では、①「アメリカ海外研修」、②「タイ国海外研修」、③「EF 海外語学研修」、④「CNE1 語学研修」の4つの海外研修制度を実施しており、これらの海外研修制度を利用することにより、幼児保育学科では教養の選択科目である「海外事情」の単位を修得することができる。また、⑤「地域での国際交流活動」も実施している。それぞれの概要は次のとおりである。

①「アメリカ海外研修」

アメリカ海外研修は夏期休業中に2週間の行程で行われ、ワシントン州ハイランド・コミュニティ・カレッジのKaplan 研修センターでの語学研修やホームステイ、現地学生・各国留学生との交流を中心とした研修を実施している。

②「タイ国海外研修」

タイ国での海外研修は、博物館や寺の見学、タイ式マッサージ・料理体験等タイの歴史や文化を学ぶプログラムに加え、孤児院でのボランティア、八戸市出身の在住日本人経営者による研修、短期日本語研修生を本学で受け入れたファー・イースタン大学日本語学科の学生達との交流を行っている。

③「EF 海外語学研修」

平成28(2016)年4月に世界最大留学サービス会社EF(エデュケーション・ファースト・ジャパン)と海外留学連携協力協定を締結し、学生が研修先や期間等を自由に選べる海外語学研修制度を開始したものである。

④「CNE1 語学研修」

平成30(2018)年1月、法人と子会社の八戸学院グループ、フィリピンのカーテル科学教育財団、および同財団が運営するCNE1 国際語学学校の4者間で連携協定を締結することにより発足した語学研修制度である。CNE1 国際語学学校において、マンツーマン方式による集中的な英会話のレッスンが行われる。

⑤「地域での国際交流活動」

学生の国際交流意識の醸成ならびに海外語学研修での成果を継続させる活動として、平成27(2015)年度から三沢市の米軍三沢基地内ショップを見学するツアーを行っている。これは、その前年まで行っていた三沢基地でのインターンシップや語学研修から実施内容を改めたものである。また、グローバルな人材育成を目的に青森県が主催する「あおもりグローバルアカデミー」にも参加している。

【資料 2-2-10】八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部海外研修プログラム

【資料 2-2-11】「海外事情」シラバス

## (7) 特別学生支援

身体障害、発達障害等を有する学生を支援するために、平成25(2013)年度より、八戸学院大学学長と本学学長の直轄の組織である「特別学生支援室」が設置され、学生から相談があった場合に必要な支援を行っている。本学では平成29(2017)年度に初めてノートテイクの利用があった。その後も発達障害を有する学生の在籍はあるが、平成30(2018)年度および令和元(2019)年度当初の利用の申し出はない。特別学生支援室では配慮の必要な学生に関する情報交換を行い、また、年度途中での申し出に対応できるよう、教務学生課と連携しながら学生への制度の周知などを行っている。

**【資料 2-2-12】 八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部障害学生修学支援規程**

**【資料 2-2-13】 八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部特別学生支援室設置要項**

身体障害に対応する施設整備としては、総合実習館（8号館）にはスロープ、エレベーター、障害者用トイレが設置され、車椅子の利用も可能である。幼児保育学科が主に使用する1号館は1階、2階とも外部から直接入館できるようになっており、2号館の学生ホール内の段差には簡易スロープを設置している。しかし、幼児保育学科の講義棟全体を見ると、バリアフリー仕様にはなっていない。

**(8) 健康管理（学生相談・ハラスメント相談）**

健康管理体制として、介護福祉学科は専門職員が常駐する八戸学院大学内の保健室を利用している。平成28(2016)年度より幼児保育学科棟にも保健室を設置し、非常勤の専任職員が常駐する体制となった。各保健室より学生委員会に毎月の利用状況が報告される。健康管理のために、毎年4月に健康診断を行い、再検査の必要な学生に対しては保健室および教務学生課職員と連携して事後指導を実施している。

メンタルヘルスやカウンセリング体制に関しては、学生支援センター内に学生相談担当、ハラスメント相談担当として相談員を指名し、学生からの相談を受け付ける体制を整備している。ハラスメント防止に関しては、学生にリーフレットを配布し、各種ハラスメントに関する意識向上を図り、相談窓口の存在を周知している。また、教職員に対しては、外部講師による研修会を実施している。

**【資料 2-2-14】 「ハラスメント」リーフレット**

**【資料 2-2-15】 教職員ハラスメント研修会要項**

**(9) 学生からの意見・要望の聴取**

学生生活に関する学生の意見・要望は、毎年実施する学生生活調査や学生委員会と学生会執行部との間の情報交換によって把握している。令和元(2019)年度に実施した調査では要望が自由記述されていたことから、個別に対応を図っている。また、オフィス・アワー制度を全学的に取り入れ、教務学生課が作成したオフィス・アワー一覧表を掲示して周知している。

**【資料 2-2-16】 学生生活調査結果**

**2. 学生の状況の把握と対応**

毎月定期的開催される各学科の教授会では、学生の履修状況、出席状況および指導を要する学生に関して教員間で情報共有を行っている。出席状況については教務委員会が常時出席状況調査を行っている。成績情報（GPA）や実習の状況についても情報を共有し、早めの対応を心がけている。

指導が必要な学生がいた場合、幼児保育学科ではまずゼミナール担任が本人と面談を行う。資格取得や卒業に不安を抱える学生がいた場合は、早めに保護者に連絡し、ゼミナール担任と教務委員（場合に応じて学科長や実習指導担当者）が面談を行っている。面談では進路変更を含めた具体的な方策を検討し、中途退学の防止に努めている。また、介護福祉学科でもカレッジアドバイザーが同様の対応を行っている。

## 【資料 2-2-17】令和元年度各学科会議録抜粋

### (3) 2-2 の改善・向上方策（将来計画）

学内に学生がコンピュータを利用できる環境を整えることが求められる。現状では、コンピュータ実習室が自由に利用できる状況ではなく、図書館に備えられている台数も十分でないなど、課題が多く、早急に改善が必要である。

## 2-3 キャリア支援

### 2-3-① 教育課程内外を通じての社会的・職業的自立に関する支援体制の整備

#### (1) 2-3 の自己判定

基準項目 2-3 を満たしている。

#### (2) 2-3 の自己判定の理由（事実の説明及び自己評価）

### 2-3-① 教育課程内外を通じての社会的・職業的自立に関する支援体制の整備

#### 1. キャリア支援の組織と体制

本学のキャリア支援は、「就職支援委員会」が担っている。平成 30(2018)年度までは八戸学院大学と合同で委員会が運営されていたが、令和元(2019)年度に学科の特性に応じたきめ細やかな支援を目的として、短期大学部単独の委員会として再編された。さらに、キャリア支援課、短期大学部事務局担当が一丸となり就職支援にあたっている。また、キャリア支援センター会議を設置し、入学から就職までの一貫した支援を目的に、広報委員会、入学試験運営委員会とともに情報を共有している。

【資料 2-3-1】八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部キャリア支援センター規程

【資料 2-3-2】八戸学院大学短期大学部就職支援委員会規程

#### 2. キャリア教育支援の状況

本学の令和元(2019)年度の就職内定率は 100%であった。学科の取り組みは、以下のとおりである。

幼児保育学科では 97%が保育士・保育教諭・幼稚園教諭などの専門職に就いており、より実践的な就職支援事業が必要とされている。そこで、教育課程内の全ての科目の教員が共通理解を図りながら職業観を涵養しているほか、ゼミナール担当教員や短大事務室の就職担当職員が学生に個別の助言を行っている。また、実習指導に重点をおき、すべての学生が「幼稚園教諭二種免許」と「保育士資格」の二つの免許・資格を取得できるよう、年間の実習指導計画を通して学生の職業に対する理解を深めている。

早期離職、ミスマッチングの問題に対応するために、年間の就職指導計画を通して学生の職業に対する理解を深め、就職支援委員会を中心に手厚い支援をしている。具体的には、「幼稚園・保育施設説明会」、「卒業生との懇談会」、「園長講話」、「マナー講座」などがある。

「幼稚園・保育施設説明会」は 2 年生を対象に毎年開催している。説明会に参加する事業所は前年度の就職先と今年度の実習先であり、令和元(2019)年度は保育所、認定こども園、幼稚園、その他施設の計 39 事業所が参加し、学生は各施設の概要や保育方針などに

ついて説明を受けた。

「卒業生との懇談会」については、長年にわたり講義形式の一方的な手法を取ってきたが、学生と卒業生との距離感を縮め、インタラクティブな手法に変えることにより、学生が保育の仕事を手近に感じることができるようになった。その結果、実習などでは見ることのできなかつた具体的な仕事内容を理解し、就業意識を高める結果となった。

その他の資格取得支援の一環として上級救命講習を開講しており、令和元(2019)年度は幼児保育学科 1、2 年生 29 人が受講し資格を得た。さらに、日本サッカー協会公認キッズリーダー(U-6)の取得も勧めており、令和元(2019)年度も 1、2 年生の受講者 89 人が資格を取得した。

環境については令和元(2019)年度、学生が最新かつ詳細な求人情報にアクセスできるように 2 号館 1 階に求人票を閲覧できる就職支援コーナーを設けた。さらに詳細な情報を必要とする学生には、事業所のリーフレット、卒業生からのメッセージなども掲示し、現場の卒業生の声を学生に届け、職業理解に役立てている。

### (3) 2-3 の改善・向上方策（将来計画）

幼児保育学科では教員による手厚い支援の成果により、過去 4 年間、100%の就職率を達成している。その一方で、早期離職が少なくないことから、卒業生が入職後に抱える問題を可視化し、現役の学生に対する就職指導につなげる。具体的な方策としては、令和 3(2021)年 11 月に実施予定の事業所、卒業生に対するアンケートにより、就業実態をより詳細に把握し、支援事業に反映させる。

また、前述の就職支援コーナーの充実を図るため、学生が自由に使えるパソコンの増設や、学生がアクセスしやすいレイアウトを考え、より良い環境をつくる。

介護福祉学科では完成年度を迎え、令和 2(2020)年度から就職支援を開始するため、就職支援事業計画を策定した。社会人基礎力を身に付けさせることを柱に、支援事業の内容充実、効率化、体系化を図っていく。

## 2-4 学生サービス

### 2-4-① 学生生活の安定のための支援

#### (1) 2-4 の自己判定

基準項目 2-4 を満たしている。

#### (2) 2-4 の自己判定の理由（事実の説明及び自己評価）

### 2-4-① 学生生活の安定のための支援

#### 1. 学生生活支援の組織と体制

本学の学生が学業、課外活動に専念し、安定かつ充実した学生生活を送ることができるようにするための組織として、学生支援センターを設置している。その下に学生委員会、国際交流支援委員会が置かれ、具体的な活動を担っている。また、心とからだの支援体制として、保健室、学生相談・特別支援室が設置されている。それらの活動を教務学生課が側面から支える体制をとっている。

学生支援センターでは、以下の事項を定期的に審議し、実践している。